



※PC環境によりサイズ変更できない場合があります
文字サイズ | [拡大](#) | [標準](#) | [縮小](#) |

検索

概要	情報公開	研究推進
お知らせ		

[トップ](#) > [国立がん研究センターについて](#) > [情報公開](#) > 中央病院の治療成績

中央病院の治療成績

[脳脊髄腫瘍科](#)

[眼腫瘍科](#)

[乳腺科・腫瘍内科](#)

[呼吸器腫瘍科](#)

[消化管腫瘍科](#)

[肝胆膵腫瘍科](#) [泌尿器](#)・[後腹膜腫瘍科](#)

[婦人腫瘍科](#)

[骨軟部腫瘍科](#)

[皮膚腫瘍科](#)

[血液腫瘍科](#)・[造血幹細胞移植科](#)

[小児腫瘍科](#)

脳脊髄腫瘍科

神経膠腫(グリオーマの治療成績 2000-2006)

診断	生存期間中央値	無増悪生存期間	5年生存率
星細胞腫 (グレード2)	76.0	38.1	55.6%
乏突起膠腫系腫瘍 (グレード2)	NR	NR	94.1%
悪性星細胞腫 (グレード3)	30.6	11.6	35.6%
悪性乏突起膠腫系腫瘍 (グレード3)	82.4	NR	66.1%
膠芽腫 (グレード4)	12.3	5.2	10.1%

手術を行った転移性脳腫瘍の治療成績 (2000-2006)

診断	生存期間中央値	無増悪生存期間	5年生存率
転移性脳腫瘍	13.6	8.7	10.0%

[▲このページの先頭へ](#)

眼腫瘍科

網膜芽細胞腫

	2006年	2007年	2008年	
網膜芽細胞腫	治療症例数	26	41	30
	治療眼数	36	58	44
	眼球温存率	39%	45%	50%

[▲このページの先頭へ](#)

乳腺科・腫瘍内科

乳腺科・腫瘍内科 治療成績

	2002-2007年 症例数	1年生存割合	3年生存割合	5年生存割合
0期	210	100%	98%	97%
I 期	786	100%	99%	98%
II 期	1,243	99%	96%	82%
III 期	168	98%	82%	67%
IV 期*	100	82%	45%	25%
再発乳癌**	199	80%	50%	25%

* 初診時、遠隔臓器転移あり、未治療症例のみ

** 初再発の症例のみ

[▲このページの先頭へ](#)

呼吸器腫瘍科

呼吸器外科 治療成績(病理病期別)

(2000年1月～2004年12月に切除された非小細胞肺癌1,520例)

病理病期	5年生存率(%)
IA	93
IB	84
IIA	68
IIB	71
IIIA	41
IIIB	35
IV	23

呼吸器内科 治療成績

切除不能III期非小細胞肺癌	1994-2005年に化学療法と放射線の同時併用治療を受けた204人	1年生存割合	76%
		3年生存割合	35%
		5年生存割合	23%
IV期非小細胞肺癌	2000-2006年に初回化学療法を受けた480人	1年生存割合	53%
		3年生存割合	15%
		5年生存割合	13%
限局型小細胞肺癌	2001-2004年に化学療法と放射線の同時併用治療を受けた50人	2年生存割合	60%
		5年生存割合	32%
進展型小細胞肺癌	2001-2004年に初回化学療法を受けた108人	2年生存割合	16%
		3年生存割合	6%

▲このページの先頭へ

消化管腫瘍科

食道外科治療成績

病理学的進行度(TNM)	1998-2002		2001-2005	
	症例数	術後5生存率(%)	症例数	術後5生存率(%)
0	5	100%		
I	58	72.4	69	91.9
IIA	62	66.1	52	78.8
IIB	69	59.4	87	54.6
III	148	33.8	123	45.9
IVA	31	29.0	23	31.6
IVB	79	13.9	65	33.8

胃外科 手術成績 手術患者の5年生存率(他病死含む)

ステージ	患者数	5年生存率(%)
IA	1766	94.2
IB	545	91.4
II	468	78.6
IIIA	345	60.3
IIIB	191	45.1
IV	703	14.5
計	4,018	

ステージは胃癌取扱い規約13版

1995年から2004年で非治癒切除も含む

大腸外科 治療成績

	進行期	2000-2004年症例数	5年生存率
	結腸	I 期	262
II 期		279	91%
III 期		346	76%
IV 期		170	31%
直腸	I 期	250	95%
	II 期	176	93%
	III 期	350	77%
	IV 期	117	22%

消化管内科 治療成績

食道がん		5年生存率	生存期間中央値
	Stage I	73%	—
Stage II/III			37ヶ月

	Stage IV		9.3ヶ月
胃がん	Stage IV、再発		12ヶ月
	腹水例		10ヶ月
大腸がん	Stage IV、再発		20ヶ月

▲このページの先頭へ

肝胆膵腫瘍科

肝胆膵外科 浸潤性膵管がん(2000-2007年)

進行期	症例数	3年生存率 (%)	5年生存率 (%)
I	5	60	60
II	6	60	60
III	76	42	27
IVa	82	33	22
IVb	25	32	10
合計	194	36	25

肝胆膵外科 肝細胞がん(2000-2007年)

進行期	症例数	3年生存率 (%)	5年生存率 (%)
I	28	89	77
II	120	90	82
III	153	68	55
IV	50	55	48
合計	351	76	65

肝胆膵内科 治療実績

	生存期間中央値	1年生存割合
切除不能膵がん	291日	40%
切除不能胆道がん	288日	47%
切除不能肝がん	調査中	調査中

▲このページの先頭へ

泌尿器・後腹膜腫瘍科

泌尿器・後腹膜腫瘍科 治療成績

	病期	1995-2005年症例数	5年生存率 ¹	10年生存率
膀胱全摘	pT2	30	86%	86%
	pT3a	29	77%	69%
	pT3b	55	43%	40%
	pT4	15	49%	49%

	病期	1995-2005年症例数 ²	5年PSA非再発率	10年PSA非再発率	5年生存率	10年生存率
前立腺全摘	T1c	154	84%	83%	100%	100%
	T2a	91	84%	84%	100%	100%
	T2b	107	80%	80%	100%	100%
	T3a	208	76%	69%	99%	99%
	T3b	44	47%	47%	98%	98%
	T4	6	16%		100%	

	病期	1995-2005年症例数	5年生存率	10年生存率
腎癌	I 期	282	100%	100%
	II 期	29	96%	82%
	III 期	103	88%	75%
	IV 期	49	30%	8%

	病期	1995-2005年症例数 ³	5年生存率 ⁴
精巣腫瘍	I 期	77	100%
	IIa 期	19	95%
	IIb 期	9	78%
	III0 期	2	100%
	IIIa 期	13	92.3%
	IIIb 期	14	78.5%
	IIIc 期	8	50%

1. 生存率はすべて疾患特異生存率で算出
2. 術後補助療法はなし
3. 他院治療歴を除く
4. 10年疾患特異生存率は5年とほぼ同じ

当センター開発の拡大切除による前立腺全摘除術(術後補助療法なし)

	病期	2000-2005年症例数	5年PSA非再発率	10年PSA非再発率
前立腺全摘	T1c	65	85%	85%
	T2a	37	92%	92%
	T2b	49	87%	87%
	T3a	106	84%	78%
	T3b	19	53%	53%

[▲このページの先頭へ](#)

婦人腫瘍科

婦人腫瘍科 治療成績(代表的疾患別)

	進行期	症例数	5年生存率

子宮頸がん ¹	I 期	425	87%
	II 期	139	74%
	III 期	120	58%
	IV 期	46	36%
子宮体がん ¹	I 期	372	91%
	II 期	62	86%
	III 期	143	69%
	IV 期	28	26%
卵巣がん ²	I 期	80	86%
	II 期	20	81%
	III 期	131	32%
	IV 期	73	16%

1:1993-2002

2:1990-1999

△このページの先頭へ

骨軟部腫瘍科

骨肉腫(初診時症例) 化学療法と手術療法による集学的治療

	症例数	5年生存(%)	10年生存(%)
1980-2003	131	63.10%	59.30%
1993-2003(NECO93-95プロトコール)	48	74.3%	71.50%

悪性軟部腫瘍(組織亜型別)

(1980-2003、がん研究センターにて病理診断された全症例における)

病理亜型	症例数	5年生存(%)	10年生存(%)
横紋筋肉腫	194	34.4	27.5
脂肪肉腫	159	86	72.4
粘液型線維肉腫	67	83.2	62.2
悪性線維性組織球腫	53	46.7	36.4
滑膜肉腫	50	61.9	48.1
平滑筋肉腫	32	33.6	0
血管肉腫	30	15.4	0
悪性神経鞘腫	25	45.2	36.1
類上皮肉腫	25	40.1	26.7
骨外性ユーイング肉腫	21	50.4	37.8
線維肉腫	20	71.8	35.9
胞巣状軟部肉腫	20	83.3	55.6
骨外性軟骨肉腫	20	100	80
淡明細胞肉腫	16	36.5	7.3

骨外性骨肉腫	13	72.9	72.9
計	745		

進行再発骨軟部肉腫例(2002—2007)の予後(集学的治療が実施された症例)

症例数	1年生存率	2年生存率	3年生存率	5年生存率
198例	73.70%	38.10%	32.30%	15.30%

▲このページの先頭へ

皮膚腫瘍科

皮膚腫瘍科 治療成績(疾患別)

	病期	2002-2007年症例数	5年生存率(%)
悪性黒色腫	ステージIA	25	100
	ステージIB	41	100
	ステージIIA	21	85
	ステージIIB	11	65
	ステージIIC	11	76
	ステージIIIA	26	61
	ステージIIIB	29	49
	ステージIIIC	25	60
有棘細胞癌	ステージI	39	100
	ステージII	30	96
	ステージIII	21	53

▲このページの先頭へ

血液腫瘍科・造血幹細胞移植科

血液腫瘍科 治療成績(疾患別)

疾患名	完全寛解率	生存率	当院からの登録患者数	患者登録年代	臨床試験名
急性骨髄性白血病	81%	40% (4年)	6	1996 - 1997	JALSG-AML 95
〃	79%	47% (5年)	15	1998 - 2001	JALSG-AML 97
急性前骨髄球性白血病	95%	86% (4年)	2	1998 - 2002	JALSG-APL97
治療関連白血病	75%	40% (3年)	16	1996 - 1999	NA
急性リンパ性白血病/リンパ芽球性リンパ腫	83%	31% (7年)	14	1991 - 1994	JCOG 9004
〃	81%	28% (7年)	10	1994 - 1999	JCOG 9402
ホジキンリンパ腫	79%	89% (5年)	7	1993 - 1997	JCOG 9305
〃	72%	92% (2年)	6	1998 - 2000	JCOG 9705

中高悪性度非ホジキンリンパ腫(高危険群)	56%	42% (4年)	2	1995 - 1998	JCOG 9505
中高悪性度非ホジキンリンパ腫(高危険群)	50%	49% (5年)	6	1995 - 1997	JCOG 9506
中高悪性度非ホジキンリンパ腫(低危険群)	79%	69% (5年)	19	1996 - 1999	JCOG 9508
中高悪性度非ホジキンリンパ腫(全危険群)	64%	56% (8年)	55	1999 - 2002	JCOG 9809
低悪性度B細胞リンパ腫	66%	94% (5年)	52	2002 - 2007	JCOG 0203
成人T細胞白血病リンパ腫	36%	31% (2年)	6	1994 - 1997	JCOG 9303
//	33%	18% (3年)	6	1998 - 2003	JCOG 9801
限局期NK/T細胞リンパ腫	77%	77% (2年)	8	2003 - 2007	JCOG 0211
多発性骨髄腫	50%(全奏効率)	50% (4年)	10	1993 - 1998	JCOG 9301

(血液腫瘍は種類が多く、疾患単位ごとの患者数が少ないため、以下の治療成績は当院が参加している多施設共同臨床試験の成績です)

[▲このページの先頭へ](#)

小児腫瘍科

小児腫瘍科 治療成績(発症時21歳未満患者のみ)

	2000年～2005年 症例数	5年生存達成の 患者割合	転移有無による 症例数内訳		転移有無による 生存患者割合
			なし	あり	
横紋筋肉腫	31	51%	なし	27	68%
			あり	4	0%
ユーイング肉腫	17	70%	なし	14	71%
			あり	3	66%
骨肉腫	8	63%	なし	7	71%
			あり	1	0%
神経芽腫	9	44%	なし	1	100%
			あり	7	38%
非ホジキンリンパ腫	26	85%			
急性リンパ性白血病	22	77%			
急性骨髄性白血病	8	63%			

[▲このページの先頭へ](#)

[| トップ |](#) [掲載内容一覧 |](#) [お問い合わせ |](#)

更新日: 2010-06-03